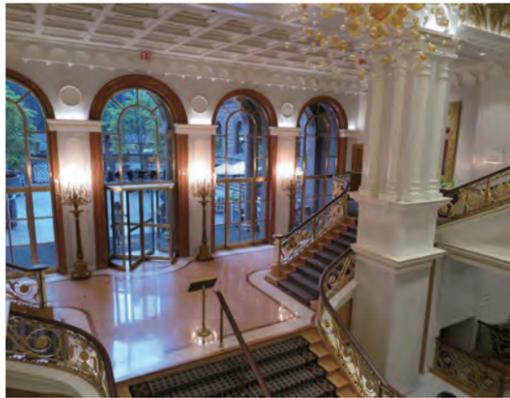
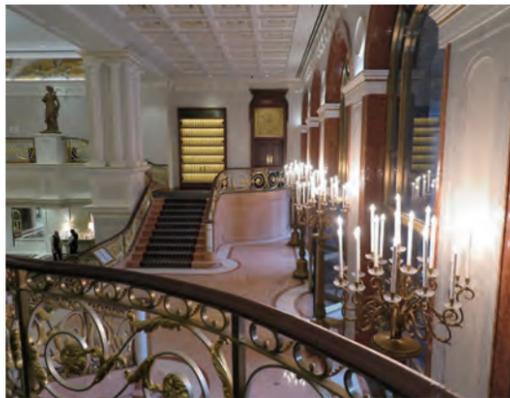




正面ゲート上にフローレンス・ランタンが灯るコートヤードから望む55階建てタワーの圧倒的景観



全米で最も著名な金融大財閥の一人、ヘンリー・ビラードが1882年に建設した邸宅「The Villard Mansion」



燭台に灯りがともり、「The Villard Mansion」のエントランスホールは輝きを増していく

ザ ニューヨーク パレス The New York Palace

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



マンハッタンの中心、ミッドタウンに佇む「麗しき邸宅」The New York Palace。由緒ある壮麗な歴史的邸宅はミッドタウンでは極めて貴重な建物であり、ルネッサンス様式のファサードは実に印象的である



ミシュラン2ツ星レストラン「GILT」に代わる形でオープンしたゴージャスなサロン「Rarities」



ヘンリー・ビラードの時代にタイムスリップしたような流れが流れる



「The New York Palace」のエンブレムを掲げた50丁目側エントランス車寄せ



華麗な円弧を描いた一般客室用のレセプションホール



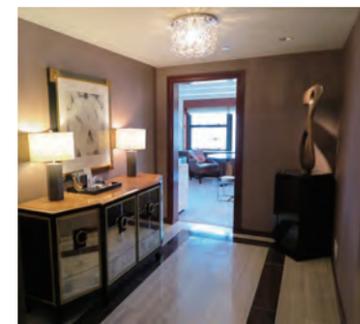
タワー専用のレセプションルームではシャンパンのサービスが付く



重厚なロビー階にあって、ひと際スタイリッシュなバーラウンジ「Trouble's Trust」



タワーにある「Towers Executive Suite」のベッドルーム。約65㎡の広さを持つエレガントなスイートで、眼下にセント・パトリック大聖堂やミッドタウンの摩天楼が眺められる



余裕の広さでゲストを迎えるスイート玄関ホワイエ



ファッショナブルなインテリアデザインのリビングルーム

マンハッタンの中心、ミッドタウンに佇む「麗しき邸宅」The New York Palace。全米で最も著名な金融大財閥の一人、ヘンリー・ビラードが1882年に建設した邸宅「The Villard Mansion」を改装してオープンさせたのが始まりである。石造りの重厚な邸宅はホテルとして改装され「1882 Villard Houses」と命名し、55階建てのタワー棟の建設に取りかかる。やがて1980年に「1882 Villard Houses」は新築したタワー棟を見事に融合させ、ホテル名を「The Helmsley Palace」として華々しくオープンした。1993年には再び所有権が移行され、大規模なリノベーションを経て現在のニューヨークパレスに受け継がれている。

マンハッタンはマジソンAveに位置し、ルネッサンス様式のファサードを持つニューヨークパレスは、NYの象徴的なホテルとして映画やドラマに度々登場してくる。話題となった米ドラマ「ゴシップガール」もこのホテルが舞台で、多くのファンが押し寄せたと聞く。また、つい最近だが驚くべきニュースが舞い込んできた。韓国のロッテ・グループがこの伝説的なホテルをノースウッド・インベスターズから買収し、ロッテホテルの傘下に収めた。(2015年9月現在、「Lotte New York Palace」に名称が変更されている)

ニューヨークパレスはタワーの176室を含め、全部で909の客室とスイートを擁する大型ホテルである。タワーは41-54階までの14フロアを占めて、シャンパンのサービスが付く専用レセプションルームを用意している。筆者にアサインされた部屋はタワーにある「Towers Executive Suite」で、約65㎡の広さを持つエレガントなスイートから眼下にセント・パトリック大聖堂やミッドタウンの摩天楼が眺められる。以前は伝説的なレストランとして名を馳せた「Le Cirque」やミシュラン2ツ星レストラン「GILT」がホテル内に営業していたが、現在はベカリアスタイルの「Pomme Palais」だけとなった。また「GILT」に代わる形で、かつてのビラード・マンションを彷彿させるゴージャスなサロン「Rarities」をオープンさせている。

今年秋の国連総会期間中にオバマ大統領はこのニューヨークパレスに投宿したという。米国大統領の定宿といわれるウォルドルフ・アストリアが中国の保険集団に買収された為、中国側の盗聴に遭う懸念からの措置だが、思わぬ形でニューヨークパレスに話題が集中した。由緒ある壮麗な歴史的邸宅は、ミッドタウンでは極めて貴重な建物だ。正面ゲート上にフローレンス・ランタンが灯るコートヤードから望む幻想的なファサードは実に印象的である。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.ohtapub.co.jp/worldhotel/



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。